

(2) 東北地方太平洋沖地震発生の6年後から1年間の余震域内の主な地震活動

東北地方太平洋沖地震発生の6年後から約1年間(2017年3月11日14時46分~2018年2月28日)に、余震域(図1-1の領域a)内で発生したM6.0以上の地震を図2-1に示す。これらの地震の概要は次の通り。なお、今期間で最大震度5強以上を観測した地震はなかった。

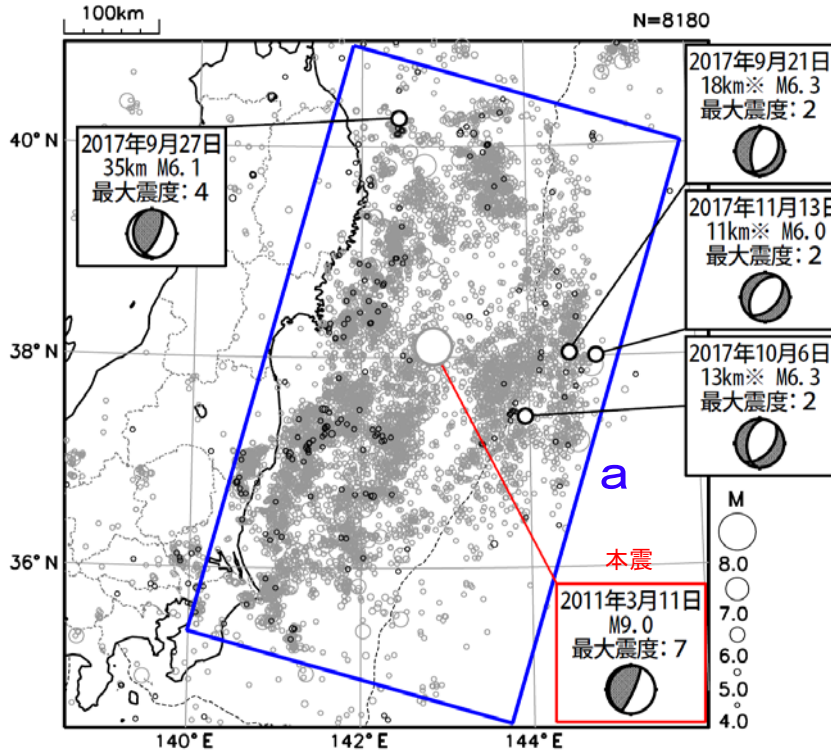


図2-1 震央分布図
(2011年3月11日14時46分~2018年2月28日、深さすべて、 $M \geq 4.0$)

東北地方太平洋沖地震発生の6年後から約1年間(2017年3月11日14時46分~2018年2月28日)に発生した地震を濃く表示している。本震、及び領域a内で本震発生の6年後(2017年3月11日14時46分)以降に発生したM6.0以上を観測した地震に吹き出しをつけた。発震機構はCMT解。領域aの範囲は図1-1に同じ。※を付した地震の深さはCMT解による。

・2017年9月21日、11月13日 三陸沖の地震(①M6.3、②M6.0、ともに最大震度2)、10月6日 福島県沖の地震(③M6.3、最大震度2)(図2-2)

地震①と③の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型、地震②のそれは北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。これらの地震は、太平洋プレート内部で発生した。

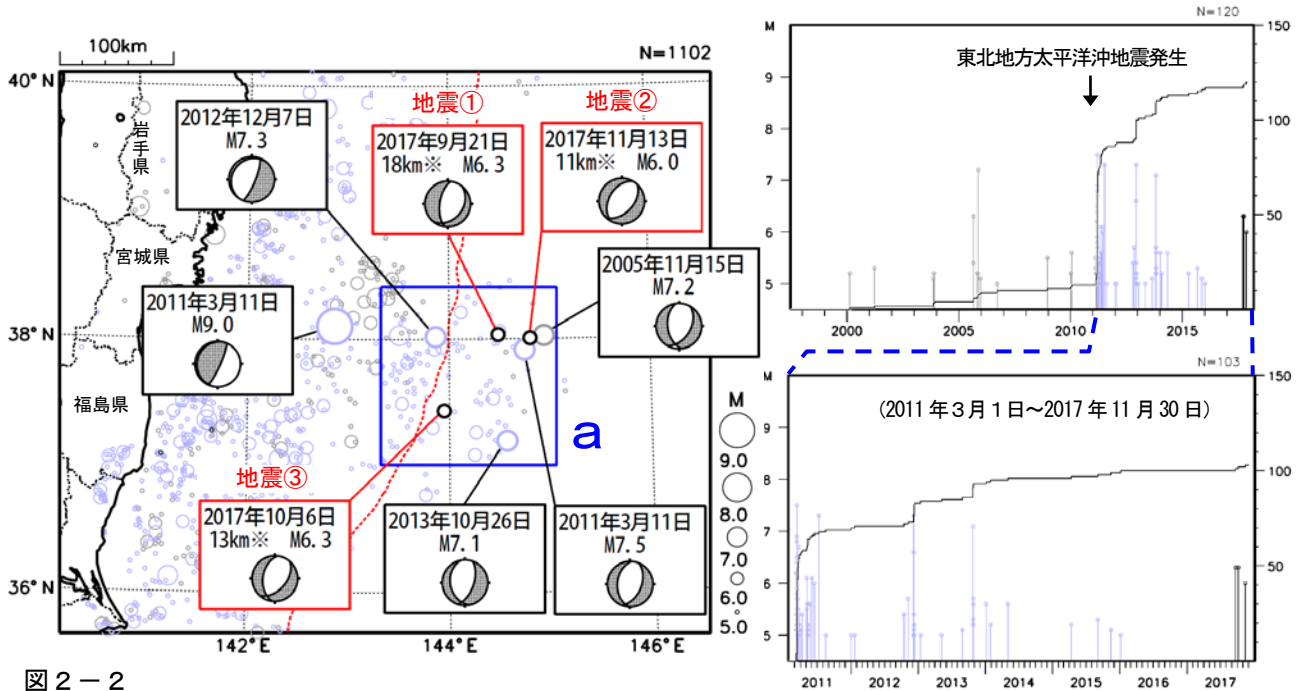


図2-2

(左上) 震央分布図(1997年10月1日~2017年11月30日、深さ0~100km、 $M \geq 5.0$)、

(右上) 領域a内のM-T図及び回数積算図(1997年10月1日~2017年11月30日)、

(右下) 領域a内のM-T図及び回数積算図(2011年3月1日~2017年11月30日)

東北地方太平洋沖地震より前に発生した地震を薄い○、東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を○、2017年9月以降に発生した地震を濃い○で表示している。発震機構はCMT解を示す。※を付した地震の深さはCMT解による。

・2017年9月27日 岩手県沖の地震 (M6.1、最大震度4) (図2-3)

この地震は発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

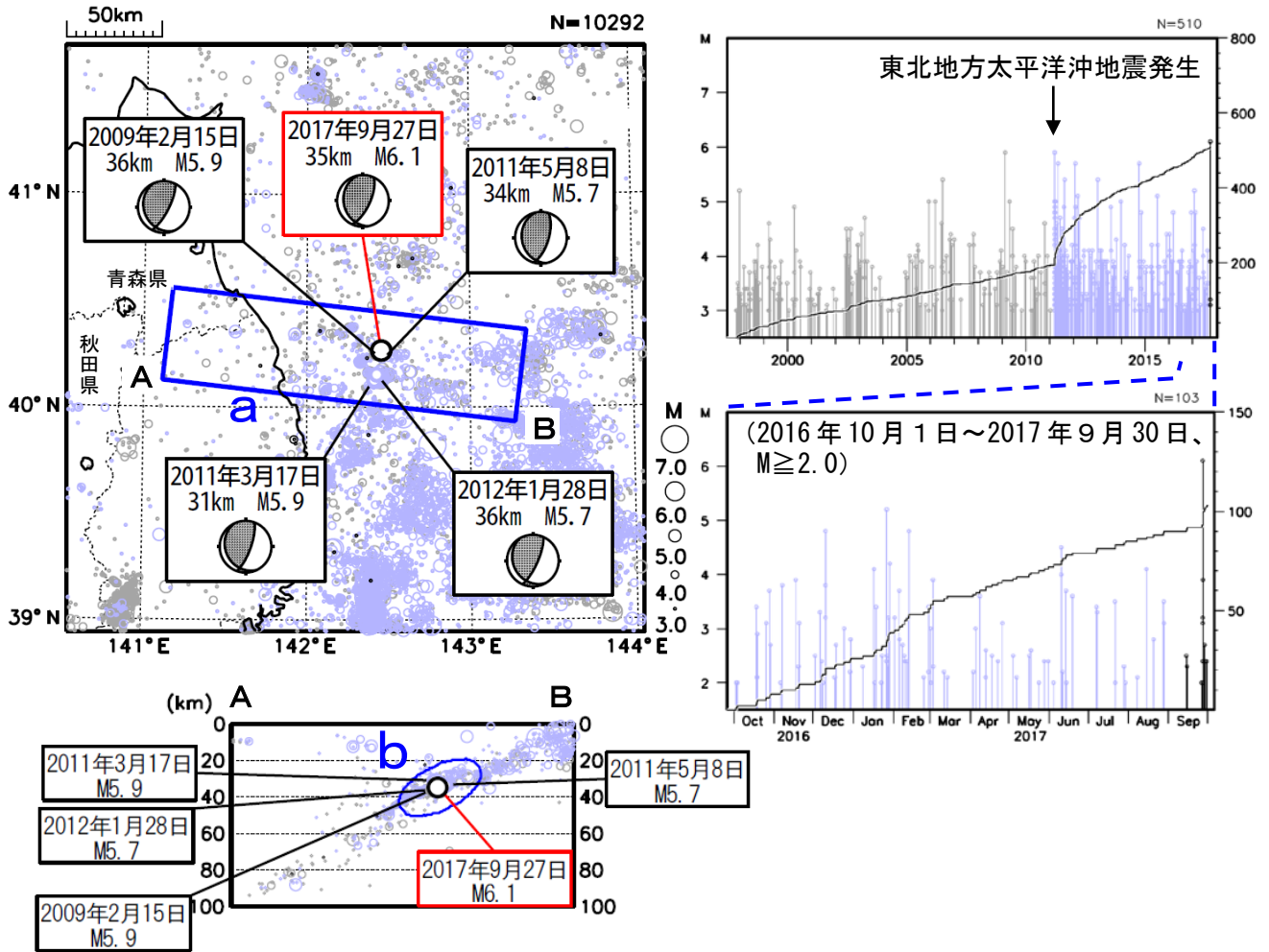


図2-3

- (左上) 震央分布図 (1997年10月1日~2017年9月30日、深さ0~100km、 $M \geq 3.0$)、
- (左下) 領域a内の断面図 (A-B投影) (1997年10月1日~2017年9月30日)、
- (右上) 領域b内のM-T図及び回数積算図 (1997年10月1日~2017年9月30日)、
- (右下) 領域b内のM-T図及び回数積算図 (2016年10月1日~2017年9月30日、 $M \geq 2.0$)

東北地方太平洋沖地震より前に発生した地震を薄い○、東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を濃い○で表示している。発震機構はCMT解を示す。